

科目名	論理的思考 A (歴史の論理) Logical Thinking A: Logics in History						
科目担当者	吉田 成哉 YOSHIDA Seiya						
単位数	2	配当年次	1 年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [総合教育科目 総合講座] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 総合講座]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	<p>欧米の主要国の近現代史を基軸に、ケーススタディの形で概説します。主要国の歴史的変遷を分野別(政治・文化・経済)に大きな流れを捉えていきます。各国の地誌・政治体制・経済状況・文化的背景を踏まえ、基本事項を身につけることで、社会人としての素養を培っていきましょう。</p> <p>また、講義の中では、多面的な視点から歴史的資料・文献を提示し、論理的思考力を育てていきます。</p>						
授業の到達目標	<p>① 歴史的に最も基礎的な重要事項について学び、その背景となる事象(思想・言語・社会・哲学)を論理的に主体的に考察することのできる力を養います。</p> <p>② 近現代史を教訓としながら、これからの国際社会はどうあるべきか、私たちはこれからどう行動することが望ましいのか、論理的に主体的に考える見識を培うことを到達目標とします。</p>						
授業計画・内容	1	アメリカ① 位置と自然的基礎・地域名と地域性・独立・政治体制・人種問題・奴隷貿易・イギリスの統治					
	2	アメリカ② 第二次世界大戦・東西冷戦・ベトナム戦争・デタント・地域ブロック					
	3	アメリカ③ 第二次世界大戦以降の金融・貿易の変遷(農業・鉱業・工業・エレクトロニクス産業)					
	4	中国① 位置と自然的基礎・地域名と地域性・王朝史・社会主義・日本との関係・経済開放					
	5	中国② 経済開放政策以降の政治体制の変遷					
	6	ロシア① 位置と自然的基礎・地域名と地域性・社会主義革命・計画経済・連邦崩壊					
	7	ロシア② 資源とナショナリズム・ペレストロイカ・グラスノスチ					
	8	イギリス① 位置と自然的基礎・地域名と地域性・イギリス革命・民主主義の変遷					
	9	イギリス② 植民地経営・産業革命・帝国主義・世界大戦・北アイルランド・EU 離脱					
	10	ドイツ① 位置と自然的基礎・地域名と地域性・神聖ローマ帝国・ハンザ同盟					
	11	ドイツ② ハプスブルグとプロイセン・ファシズム・東西冷戦・東西ドイツ統一・EU 中のドイツ					
	12	パレスチナ問題の変遷・イスラエルと西アジア・中東戦争					
	13	旧ユーゴスラビア紛争の変遷・ボスニア紛争・宗教対立					
	14	ナイジェリア 位置と自然的基礎・地域名と地域性・部族対立・油田開発・資源ナショナリズム					
	15	まとめ(各国史のキーワードを振り返る)					
授業外学修 (事前学修)	事前に配付されたレジュメを読んでおいてください。(毎週 2 時間程度) 先行研究については、適宜、紹介します。						
授業外学修 (事後学修)	Moodle 上に、講義終了後、毎回、「講義概要」を掲載します。板書事項を含め、補足説明を記載しています。それをベースに復習・講義の要点をまとめてください。(毎週 2 時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	定期試験				70%	①、②	
	授業中のレポート課題(2回)				30%	①、②	
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点でいきし未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	レジュメを適宜配付します。						
参考文献	適宜、指示します。						
その他							